

私の未来図構想

カク・キコウ

皆さんは、自分の未来について深く考えたことはありますか？一時期、私は未来を描くことから逃げていたことがあります。大学卒業後、何事についても満遍なく対応できるようになろうと躍起になって、目の前のことに没頭するあまり、人生という軸で未来を描くことを忘れていたように思います。

しかし、幼い頃は変に常識にとらわれず、誰しものが未来を自由に描いていたのではないのでしょうか？私も小さい頃に大好きだったドラえもんの主題歌の歌詞にもあるように、「こんなこといいな。できたらいいな。」と、あれもこれもと欲張っていたように思います。けれど、社会に出るといい意味で現実と向き合うようになり、同時に将来を考えることから逃避してしまうようになりました。「やりたいことはあるけど、こういう人に憧れるけど、私には無理かな。」理想を思い描いては、現実に戻されて、遠くの絵空事のように感じてしまうのです。ちなみに、私の五歳の弟に将来の夢を聞いたことがあります。「将来は何になりたい？」「唐揚げになりたい!!」「(?!)どうして？」「大好きなんだもん！」なるほど、子供は本当に自由ですね。唐揚げになるのはさすがにどうかと思いますが、やっぱり常識にとらわれない自由な発想が羨ましいなと思ったりします。私も幼いころは、アニメのヒーローに憧れて、こんな風になりたいと願っていた時期もありました。でもいつからか現実が頭をよぎり、自分の本音から目を背けてしまっていました。

変化のきっかけは横浜国立大学に合格したことです。人生の迷子だった私は大学院に合格し、大学院生になりました。私にとって新しい人生のスタートでした。日々の勉強の中で次第に自分の知識不足、考え不足を感じ、語学力、教養知識を向上させることと世の中や周囲に流されないようにと、自分を見つめ直すことができました。人生の行き先を繰り返し考える中で、少しずつ先の人生を描けるようになってきました。ずっと心の奥底に封印してしまっていた、私が本当に大事にしたいものが何か浮き彫りになった気がします。「出世して外交官になる。」自分の専門を生かした人生、現実と夢がつながるものです。私は日本語が好きです。日本語を使って自分の夢を実現すると同時に、他人、ひいては中日両国に役に立つ人間になりたいです。真実を求めて中日両国の信頼を回復するように全力を尽くしたいです。国の政策は異なっても、国民は皆暖かい心を持っています。真実に基づき、人間社会に良きもの、暖かさを保たせ、よりよい社会を作るための外交官になるのです。

かつて、ナポレオンは「人が心に抱き、信じられることは、すべて実現できる」という名言を残しました。私も自分の夢に向かって中日友好のために力を捧げたいです。最初、真っ白だった未来図構想も今では鮮明に描けるようになってきました。後はただ、ひたすら前に進むのみです。描いた未来を実現するために、日々の時間を大切に使うと思っています。

以上は私の描く未来です。ご清聴どうもありがとうございます。